

社団法人 全日本川柳協会

平成21年度 通常総会議事録

(平成21年度 2009 -)

日 時 平成22年2月10日 (水)
場 所 東京都台東区上野公園1-59
グリーンパークレストラン

社団法人全日本川柳協会

平成21年度通常総会議事録

- 1、日 時 平成22年2月10日（水） 14：10～16：00
- 2、場 所 東京都台東区上野公園1-59 グリーンパークレストラン
- 3、出席者の確認
出席者数 44名・委任状出席 220名・合計 264名
正会員現在数395名の内上記のとおり定足数198名に達しており、よって定款第27条により当総会の決議事項は有効であることを確認した。
- 4、議事録署名者選出
佐藤美文、安永理石の2氏を議事録署名者として選出した。
- 5、議 事
大野理事長を議長に選出し、次の事項を審議決定した。
 - 第1号議案 平成22年度事業計画承認の件
大野議長の指名により本田事務局長から、議案書に基づき平成22年度事業計画について説明。これらを一同に諮ったところ、全員一致これを承認した。
 - 第2号議案 平成21年度補正収支予算承認の件
大野議長の指名により本田事務局長から、平成21年度は札幌大会関連の助成金支給が決定したことにより収支額の増加があるため、実体に合わせて補正予算を作成したい旨の説明があった。これらを一同に諮ったところ、全員一致原案どおりこれを承認した。
清水監事より補正予算について、公益法人会計基準という法律があり、予算を立てて実行し、大きな変動がある場合は実態に合わせた新しい補正予算書を作成し、理事会・総会の承認を得なければならない旨の説明があった。
 - 第3号議案 平成22年度収支予算承認の件
大野議長の指名により本田事務局長から、平成22年度予算案について議案書に基づき説明があり、質疑応答を行なったのち、全員一致原案どおりこれを承認した。

- 第4号議案 80歳以上の功労者顕彰他 表彰の件
80歳以上の功労者顕彰の候補者は西側から5名の候補者が挙げられた。東側の候補者と合わせて、表彰式に出席できる人を中心に5名に絞り込む予定。また札幌大会成功への感謝を表すため、札幌実行委員会に感謝状を贈ることについて提案がなされた。一同に諮ったところ異議なく全員一致これを承認した。鳥取大会の前夜祭において表彰する予定。
- 第5号議案 川柳文学賞の件
大野議長から、配布資料に基づき川柳文学賞の申請者について説明がなされた。申請者20名の川柳個人句集を川柳文学賞の選考対象者とする。近々、選考委員に本と参考資料を発送する。
申請者が少ない理由について、表彰者が1名しか選ばれないことも原因の一因と考えられ、今後は奨励賞などの賞を作成するなど対策を検討したい。これらを一同に諮ったところ、全員一致これを承認した。
- 第6号議案 役員・人事の件
理事会推薦の常任幹事について提案がなされた。青森県・高瀬霜石氏、宮城県・仁多見千絵氏、東京都・竹田光柳氏、新潟県・大野風太郎氏の四名を常任幹事に推薦する。議長から議案書に基づき、一同に諮ったところ異議なく全員一致これを承認した。
- 第7号議案 その他
出席者から次の発言があり、一同に諮ったところ全員これを承認した。
清水監事より教科書委員会の活動については、教科書協会等へ要望書を提出するなどの活動を行っている。平成23年から小学生の教科書より順に改訂される。これからも積極的に教科書掲載に向けて行動する予定。
清水監事より新公益法人制度改正について、公益法人化はハードルが高い。全て内閣府の管轄となる。川柳以外の事業を50%しなくてはいけない。提出した事業計画が計画通りではない場合はすぐに公益法人の認可が取り消され、取り消された場合は一般社団法人に戻れず、基本金も没収されてしまう。などの説明があった。今後は一般社団法人に向けて準備をする予定。
基本金について、大阪本部事務所用マンションを購入することによって、川柳活動の場の提供、経費削減を図りたい旨の提案があった。
昨年まで日川協理事を務められていた定本広文氏が1月30日に亡くなられた。哀悼の意を表す。
河内理事より鳥取大会、弓削川柳社・恒弘衛山氏より国民文化祭おかやまの準備状況や交通案内、観光の説明等があった。
全国各地の大会のPRが行われた。

以上により本日の議事を終了し、議長から謝辞を述べたのち閉会を宣した。